



第 9 グループ

令和 / 年度 第 3 回 議事録

【年間テーマ】

令和 / 年 11 月 9 日 提出

|              |  |               |               |               |
|--------------|--|---------------|---------------|---------------|
| 日付           | 令和 / 年 11 月 9 日 (土)  |               |               |               |
| 場所           | TKP カードレス シティ 博多 3-A   |               | 記録者名: 野口      |               |
| 出席者<br>(敬称略) | 井上   | 仙田            | <del>村田</del> | <del>大野</del> |
|              | 東中村  | <del>山下</del> | 伊藤            | <del>村田</del> |
|              | 横内   | <del>安藤</del> | 野口            | 木本            |
| テーマ          | 抑製廃止 に 対応 する 取組 み、 ケアの工夫   |               |               |               |
| 結論           | <p>抑製 廃止 まで なく、「<u>経営 策 通</u>して 抑製 廃止 へ 進める」 へ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必ず はじめ に ガイドライン の 説明 を する。 Dトセ の 覚悟 を 確認。 専断 一 が 決める。</li> <li>① 経営 (PEG、スーダン) を 続ける のか ... 生命 線 維持 の ため ずい と 抑製 して いく のか</li> <li>② 撤去 したら その 先 に、 自然 に 専断 時期 に いく のか</li> </ul> <p>家族 の 覚悟 決定 を しっかり 話し 合 える (方 向 性 を)</p>  |               |               |               |
| 決定事項         | <p>「 変え ら れ な い 心、 せ り つ づ け る 信 念 」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 持て くる こと</li> <li>色 紙、 はき ぬ、 のり</li> </ul>   |               |               |               |
| 備考           | <p>前 回 の こ と を 話 せ て くだ さ い ...</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安全 フェーズ が 評価、 作 成 中</li> <li>・ 専断 時 刻 の コーヒー 会 話 が、 抑製 廃止 は 未 だ ない</li> <li>・ 入 院 時 同 僚 書、 毎 日 評 価 して いる</li> <li>( 元 来 「 抑製 廃止 したい、 けど」、 専断 時 刻 不足、 認 知 力 ナ ど 難 しい の が 現 状 )</li> <li>・ 療 養 に つ づ け る 時 に 専断 時 刻 ケア ( ガイドライン ) の 説 明 を 必 ず する ( 家 族 の 覚悟 )</li> <li>・ 全 て 中 止 不 可 能 ... PEG を 止 め て 外 せ ず 時 間 を 考 へ る。</li> </ul> <p style="text-align: right;">* 抑製 廃止 へ 必 ず 同 じ 方 向 向 いて 取 り 組 ん だ !!! *</p> |               |               |               |
| 次回討論項目       | 2 / 8 (土) PM 1:00 - 同 場 所  |               |               |               |

抑制廃止とケアの質を高める会 事務局

E-メールアドレス info@famcf.jp

(FAX.092-691-3961)

## 抑制廃止とケアの質を高める会 11月定例会 Q&A

先日、事務局に以下の質問が寄せられました。届けられた現場の悩みを私たちも共有しながら、一緒に考え、善い解決策を見出しましょう。

### 【A 病院からの Q】

急性期病院から転院してきた場合、前病院でミトン、体幹、四肢抑制をしていた、という患者さんが多いのですが、そのような場合（そのような情報があるのに）何もしないで事故につながるリスクを考えると、最初は抑制→解除の方向に向かうのが良いのかと考えてしまいます。最初は何もしなくて、その日のうちに経鼻胃管を抜いて、抑制（ミトン）という例も多いです。そのような情報を得ての判断基準、フローチャートなど他施設での流れを知りたいです。

### 【私たちの A】

- ・ 入院 → 退院日 の日中 確認し、必要時 できるよ 準備 はしておく。
- ・ 家族の意向の確認
- ・ そのまま 抑制 解除 する 所 も あり。

### 【B 病院からの Q】

- ① どの位の量の薬剤が抑制になるのでしょうか。
- ② 行動制限中、毎日観察は行っているが、評価は週 1 回、カンファレンスは 4 週に 1 回していますが・・・良いのでしょうか。

### 【私たちの A】

- ・ ① ~~和~~ N が 決め 事 ではない の だけ？  
薬量も、排泄、おっぱい状況の報告は Dr へ あり。
- ② 毎日 記録、毎日 評価、毎日 カンファレンス